

# 佐賀市A I オンデマンド交通実証運行業務仕様書（案）

## 1. 目的

### （1）事業の目的（佐賀市地域公共交通再構築実証事業）

「佐賀市地域公共交通計画」では、利便性・効率性の高い公共交通ネットワークの構築や、地域特性に応じた多様な公共交通の実現等を基本方針とし、「公共交通でスムーズに移動できるまち」を掲げている。しかしながら、現状の交通体系においては、人口集積の高い市街地に「公共交通の空白地域」が存在する一方で、日中時間帯における「路線バスの利用低迷」という複合的な課題を抱えている。さらに、深刻化する運転士不足や財政負担の観点からも、限られた資源の有効活用と交通モードの最適化が急務となっている。

本事業は、別紙に示す運行予定区域において、既存の路線バスを通常どおり運行しつつ、A I オンデマンド交通を試験的に導入し、①交通空白地域の解消、②路線バス等とのモード連携の有効性、③赤字バス路線（中折・クレオパーク鍋島線および鍋島駅北・クレオパーク鍋島線）の日中時間帯におけるデマンド交通への置き換え（需要が集中する朝夕の通勤・通学時間帯は定時運行を行い、利用者が少ない日中時間帯にデマンド交通で面的にカバーする「ハイブリッド運行」の導入）について、客観的なデータに基づいて検証するものである。

将来的には、本事業の成果を踏まえ、市内の赤字バス路線を段階的にデマンド交通へ移行し、地域交通の最適化による持続可能な「佐賀市モデル」を構築するとともに、利便性と効率性を両立した次世代の公共交通ネットワークの構築を目指す。

### （2）業務の目的

本業務は、上記の実証事業を技術的・運用的に支えるため、A I オンデマンド交通システムの導入・運用、コールセンター設置・運営、利用促進・広報および効果検証を行うものである。また複数の事業者が連携して実施するため、各主体が円滑に機能するためのマネジメントおよび連携環境の整備を行う。さらに、利用実績の最大化に向けた戦略的な広報施策の実施に加え、実証運行で得られたデータを精緻に分析し、利用者利便の向上・運行の効率化に着目した社会実装案や市内他地域への横展開案を策定することを目的とする。

## 2. 業務の概要

### （1）業務名

佐賀市A I オンデマンド交通実証運行業務

### （2）役割分担

本事業は、以下の役割分担により実施する。本業務の受託者は、①②④および⑤を担う。

#### ①システム導入・運用業務【本業務の受託者】

システム導入・運用、ドライバー・管理者（佐賀市・コールセンター業務を担う事業者。以下同じ。）用端末の設定等。

#### ②コールセンター業務（電話予約受付・問い合わせ対応）【本業務の受託者】

利用者登録、配車予約・変更・キャンセル受付および汎用的な問い合わせ対応。

#### ③オンデマンド車両運行業務 ※佐賀市が市内の複数のタクシー事業者に委託予定

システムからの指示に基づく車両運行、ドライバー用端末の操作等。

#### ④利用促進および広報業務【本業務の受託者】

利用実績最大化に向けた戦略立案、広報活動の展開等。

#### ⑤実証効果の検証・分析業務【本業務の受託者】

利用者利便の向上・運行の効率化に着目した社会実装案や市内他地域への横展開案の策定等。

### (3) 履行期間

契約締結日から令和9年2月12日（金）まで

- ・システム導入：契約締結日の翌日から令和8年9月18日まで
- ・システム運用：令和8年9月19日から令和9年1月31日まで（テスト運行含む。）
- ・効果検証分析：令和8年10月1日から令和9年2月12日まで

### (4) 運行概要

運行形態	区域運行（道路運送法第21条）
運行区域	鍋島・開成・昭栄・嘉瀬・日新・勸興・神野の各小学校区の一部（約13km <sup>2</sup> ）※別紙参照
区域内人口	約3万人
運行期間	令和8年10月1日～令和9年1月31日 ※運行開始一週間前の9月24日から予約を受け付ける。
運行時間	月～土曜日 9：00～15：00（祝日含む）
運賃	1乗車あたり300円を想定
車両体制	2台（普通車1台、ジャンボタクシー1台） ※複数事業者による運行
乗降方式	バス停（ミーティングポイント）方式
設置予定の乗降地点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一覧 <a href="https://docs.google.com/spreadsheets/d/1MHmpwJsapZXgcjaIMD_Q2UlpYrEvNil/edit?usp=sharing&amp;ouid=107197631398015202100&amp;rtpof=true&amp;sd=true">https://docs.google.com/spreadsheets/d/1MHmpwJsapZXgcjaIMD_Q2UlpYrEvNil/edit?usp=sharing&amp;ouid=107197631398015202100&amp;rtpof=true&amp;sd=true</a></li> <li>・設置場所 <a href="https://www.google.com/maps/d/u/0/edit?mid=11D7nckZ5d2M0L0bNJKtAHneT--n7ssU&amp;usp=sharing">https://www.google.com/maps/d/u/0/edit?mid=11D7nckZ5d2M0L0bNJKtAHneT--n7ssU&amp;usp=sharing</a></li> </ul> ※調整中のものを含み、今後、増減する可能性がある。

## 3. 業務の内容

### (1) 定例会の実施

本業務を円滑かつ確実に遂行するため、以下のとおり定例会を実施し、体制構築、進捗管理および課題解決等について密に連携を図る。

- ・頻度：運行開始前（6～9月）および初期対応期間（10月）は、原則として週1回実施する。それ以外の期間は1か月に2回程度とする。緊急の課題解決や不具合対応が必要な場合は随時開催とする。
- ・方法：対面形式またはオンライン会議形式（オンライン会議のURLは受託者が発行すること。）
- ・会議録の作成：会議録を作成し、実施後5日以内に提出すること。

### (2) システム導入・運用業務

要件を満たす「AI配車システム」「利用者システム」「ドライバーシステム」「管理者システム」を導入・運用すること。要件は、本市が求める基本的な機能を示す「標準要件」と審査における「加点要件」に区分する。

なお、標準要件については、必ずしも全ての項目を充足することを求めるものではない。充足しない項目については、代替案等があれば様式第9号にその内容を記載すること。最終的な実装仕様については、佐賀市と受託者とで協議の上で決定することとする。

## ①システム全体

### 【標準要件】

- ・利用者、ドライバー、管理者が使用する端末（スマートフォン、タブレット、PC等）のOSおよびブラウザについて、各提供元（Apple、Google、Microsoft等）が正規にサポートを提供するバージョンに対応すること。
- ・利用者、ドライバー、管理者が使用する端末とシステム間のすべての通信経路において、標準的かつ安全な暗号化通信（TLS等を用いたHTTPS通信）を行うこと。
- ・システム稼働率は99.5%以上を維持すること。大規模災害時は1ヶ月以内のシステム再開を目標とし、ディスクアレイ等により冗長性が確保された同一構成で再構築すること。
- ・データ消失やシステム障害に備え、バックアップを日次で取得し、確実なデータ復旧が可能な体制を講じること。

### 【加点要件】

- ・稼働するシステムおよび利用者のデータを保持するデータセンターは、ISMAP登録済もしくは日本国内にサーバを有すること。
- ・急激なアクセス集中が発生した場合であっても、クラウド環境のオートスケール機能等を活用し、レスポンスの遅延やシステムダウンを生じさせず、安定したサービス提供が可能なスケーラビリティを有すること。
- ・利用者の属性（大人・子供・障がい者等）に応じた運賃の設定ができること。
- ・運賃の設定について、一律運賃のほか、運行区域を分割した「ゾーン運賃（例：同一ゾーン内は〇円、ゾーンを跨ぐ場合は△円）」、乗降地点間の直線距離に応じた「距離制運賃」、運行区域内と区域外の乗降地点間を跨ぐ乗車に対する「個別運賃」の設定ができること。
- ・運行予定区域内にある既存バス路線のバス停も乗降地点とするため、バス停間移動（既存バス路線と完全に重複する移動）をシステム上で制限または禁止する設定ができること。

## ②AI配車システム

### 【標準要件】

- ・相乗り（乗合）を前提とし、対象区域内（区域外の乗降地点も含む。）でAIを活用した効率的な配車・自動ルート生成が可能であること。
- ・運行範囲の設定、道路の通行止めや工事情報の登録ができること。
- ・予約の追加やキャンセルに即応し、運行計画をリアルタイムで自動修正できること。

### 【加点要件】

- ・運行区域の道路特性（道路の幅員が狭い）と車両サイズ（普通車・ジャンボタクシー）を考慮し、当該車両が安全に通行可能なルートのみを自動生成（物理的に通行困難な経路を回避）できること。
- ・スクールゾーン等による時間帯別の通行規制ができること。

## ③利用者システム

### 【標準要件】

- ・高齢者を含む幅広い世代が、説明書等に頼らず直感的に、端末だけでの操作で利用登録、配車予約・取消等の操作ができること。また、電話でも利用登録、配車予約・取消ができること。
- ・端末、電話および紙申請での利用者登録時、電話番号を一意的情報とする方法等で重複登録されない仕様であること。
- ・予約は乗車日の1週間前から受け付け、当日のリアルタイム予約にも対応できること。
- ・配車予約時に乗降地点を容易に指定できること（地図上での選択、一覧表示、過去履歴、お気に入り登録等）。
- ・配車予約時に、「10:00~10:15 予定」といった幅を持たせた乗降車予定時刻を提示するなど、他の利用者の予約が後から入ったことによる時刻変動でのトラブルを防止する仕様があること。
- ・予約完了後、自身の予約状況および指定した乗降地点をいつでも確認できること。
- ・予約時刻の前にリマインド通知を受け取れること。
- ・車両が乗車地点に接近したタイミング（例：到着5分前等）で、通知を受け取れること。また、電話予約した利用者に対しても電話番号宛のSMSまたは自動音声電話等による通知が可能であること。
- ・運賃の支払いについて、予約時に「事前支払い（オンライン決済）」または「乗車時支払い」を選択できること。事前支払いを選択した場合は、アプリまたはWeb画面上でオンライン決済が完了できること。
- ・利用者が利用停止（退会）等を希望する場合、利用者自身がアプリまたはWeb画面上の操作のみで退会手続きが完了できること。退会処理後は、当該利用者の個人情報がシステムから確実に消去（または特定の個人を識別できない不可逆的な匿名化処理）されること。
- ・端末の故障や機種変更等が生じた際、新しい端末において、アカウント認証による容易な操作のみで、登録情報、利用履歴および保有するデジタルチケット（回数券等）の権利を確実に引き継げる仕様とすること。

#### 【加点要件】

- ・認証コードの入力が不要、パスワード設定が不要、2回目以降の利用はログイン不要等シームレスに利用できる仕様があること。
- ・配車予約時に、乗車人数の内訳（大人・子供等の属性別、車椅子利用の有無等）を指定できること。
- ・配車予約時に、ドライバーへの伝達事項（身体的配慮や荷物の状況等）を入力できること。
- ・スマートフォンを所有しない高齢者や子供等の利用に配慮し、代表者（家族等）のアカウント内に同乗者として家族の情報を紐づけて登録し、代表者がアプリまたはWeb画面上から代理予約を行える機能（家族アカウント機能等）を有すること。
- ・初回登録時や各操作画面において、利用者に操作方法を直感的かつ分かりやすく示す機能（チュートリアル、ツールチップ、FAQ、ヘルプ画面等）を有すること。
- ・配車予約時に、混雑等により希望条件での配車が不可能な場合は、代替手段（近隣のタクシー事業者等）を案内できること。
- ・日本語に加え、英語、ベトナム語、中国語、フィリピン語等の多言語に対応すること。

- ・視覚障がい者等が利用するOS標準の音声読み上げ機能（スクリーンリーダー等）に対応すること。

#### ④ドライバーシステム

##### 【標準要件】

- ・オンデマンド車両に搭載するドライバー用端末（タブレット等）について、文字サイズやボタン配置等、直感的で操作性が高く、運転中の安全性に最大限配慮した画面構成・操作性であること。
- ・予約をもとに決定した配車データをドライバー用端末に即時共有し、最適な運行ルート案内する機能を有すること。
- ・乗車予定者の氏名、人数（大人・子供等）、車椅子利用の有無や伝達事項等を画面上で容易に確認できること。
- ・乗降車の記録操作が、画面の注視を最小限に抑えられるよう大きなボタン等で直感的に行えること。
- ・乗客の決済状況（「事前決済済」または「未決済」）が一目で明確に判別できること。

##### 【加点要件】

- ・通信環境が不安定な状況でも、システムがフリーズすることなく直前の配車データを保持し、乗降操作を継続できる（通信回復時に自動でシステムと同期する）オフライン対応機能を有すること。
- ・車内支払いの場合は、現金・各種キャッシュレス決済のどちらの手段で支払われたかをシステムに記録できること。
- ・運転中の安全確保のため、新たな予約の追加、ルートの変更、予約のキャンセル等のドライバーへの通知は、画面表示だけでなく音声（読み上げ機能等）で行うこと。
- ・乗客が予約時刻に現れない場合や、交通事故等のやむを得ない遅延が発生した場合に、ドライバー側の操作によって予約をキャンセル（スキップ扱い）でき、乗車予定者および管理者へ自動で通知できること。
- ・乗務開始時および終了時の入出庫時間、オドメーター（走行距離）値など、日報作成に指定する必要な情報を車載端末から入力し、管理者システムへ送信・連携できること。
- ・ドライバーが業務開始時に、その日使用する車両および自身のIDを容易に選択・紐付けできる仕様とすること。

#### ⑤管理者システム（佐賀市）

##### 【標準要件】

- ・インターネットブラウザで操作できる仕様であること。
- ・利用者および運行業務を担うドライバーのアカウント情報を検索・確認し、当該アカウントの情報修正・利用停止・削除処理ができること。
- ・システム内に蓄積されたデータ（利用者情報、運行履歴、各種設定データ等）を、汎用的なファイル形式（CSV形式等）でダウンロードできること（もしくは佐賀市に定期的に提出すること）。
- ・登録車両の追加・変更・削除、車両ごとの定員設定ができること。
- ・車両ごとに運行する時間帯（予約を受け付ける時間帯）を設定できること。
- ・車両の運行計画が一覧で表示できること。

- ・アクティブユーザー数（1日・1週間・1か月あたりの利用者数）、利用回数など詳細な状況を確認できること。

**【加点要件】**

- ・運行ルートの地図表示およびドライバーごとの現在地・走行状況・稼働状況の一覧表示ができること。
- ・一人あたりの配車予約上限数を設定できること。
- ・佐賀市職員が乗降地点の登録・変更・削除が、地図画面上や一覧表示から容易に行えること。また、特定の乗降地点の一時利用停止や位置の微調整ができること。

**⑤管理者システム（電話予約受付コールセンター）**

**【標準要件】**

- ・インターネットブラウザで操作できる仕様であること。
- ・オペレーターが利用者に代わって利用者登録、配車予約登録・変更・取消できること。
- ・登録済みの情報（利用者・予約）を電話番号や氏名（フリガナ）等から検索できること。
- ・配車予約時、番号入力および地図上の地点選択で乗降場所の登録ができること。

**【加点要件】**

- ・連続して予約登録する際に入力情報を流用できること。

**⑥管理者システム（問い合わせ対応コールセンター）**

**【標準要件】**

- ・インターネットブラウザで操作できる仕様であること。
- ・登録済みの情報（利用者・予約）を電話番号や氏名（漢字・ひらがな）等から検索できること。
- ・過去の予約・乗車履歴を確認できること。

**【加点要件】**

- ・利用者ごとに「いつ、どのような相談があり、どう回答したか」の対応履歴をシステム内に記録・管理できること。
- ・パスワードを忘れた利用者への再設定案内やアカウントロックの解除操作等を、本人確認の上で管理画面から安全に行えること。

**⑦その他**

**【標準要件】**

- ・降車後または利用後に、利用者が乗車体験（満足度、使いやすさ、改善要望等）に関するアンケートに回答できる機能を備えること。または、外部のアンケートフォーム（Google フォーム等）へ容易に遷移・誘導できる仕組みを設けること。  
※オンラインアンケートに加え、紙によるアンケートも実施できるよう、運行車両へのアンケート配布・回収用ホルダー、および公民館（鍋島・開成・新栄・神野・嘉瀬・日新）への配布・回収用ボックスの設置・撤去まで提案金額の範囲内で対応可能であること。なお、データ入力には佐賀市が行う。
- ・各種キャッシュレス決済（クレジットカード、交通系IC、主要なQRコード決済）に対応すること。

- ・回数券や定期券、デジタルクーポンなどを発行し、運用することができること。
- ・複数のタクシー事業者が運行業務を担うことを考慮し、ドライバー用端末を容易に別車両に搭載できること（シガーソケット等からの容易な給電や確実な固定が可能であること）。

#### 【加点要件】

- ・共用端末（タブレット等）から、利用者登録不要で配車予約ができること。  
※共用端末6台の初期設定および公民館（鍋島・開成・新栄・神野・嘉瀬・日新）への設置、公民館職員への端末を用いた操作研修、運行期間終了時の撤去まで提案金額の範囲内で対応可能であること。
- ・佐賀市公式スーパーアプリ、佐賀市公式LINEとの連携案を有すること。

### （3）設定・設置・テスト運行

#### ①初期設定

- ・各システムについて、ドライバー・管理者用アカウントを必要数設定すること。その際、担当業務に応じたロール設定（閲覧および編集権限の付与・制限）を柔軟に行うこと。またデータ（運行区域の地図、乗降地点情報、車両情報等）の登録も行うこと。
- ・車両に搭載するドライバー用端末、決済端末のセットアップを行うこと。

#### ②機器類の設置・撤去

下表に示す機器類を貸与・設置すること。運行期間終了後、速やかに撤去すること。

名称	数量	設置場所
ドライバー用端末	3台	運行車両
キャッシュレス決済端末	※1台は予備	
車両用マグネットシート（両側面分）	3セット ※1セットは予備	運行車両
電話予約受付用パソコン	2台	電話予約受付業務を担う事業所
問い合わせ対応用パソコン	2台	問い合わせ対応業務を担う事業所
アンケート配布・回収用ホルダー	3セット ※1セットは予備	運行車両
アンケート配布・回収用ボックス	7セット ※1セットは予備	公民館（鍋島・開成・新栄・神野・嘉瀬・日新）

※複数のタクシー事業者による運行を想定しているため、ドライバー用端末、キャッシュレス決済端末および車両用マグネットシートは取り外し可能なものとする。

※車両用マグネットシートは、車両の側面に貼付しても交通の妨げにならず、「AIオンデマンド車両」であることが遠目からも視認できるデザイン・サイズとすること。また、高速走行や降雨時でも剥がれ落ちない磁力を有し、かつ車体を傷つけない素材であること。

※電話予約受付用パソコンおよび問い合わせ対応用パソコンを設置する事業所にインターネット環境がない場合は、別途、Wi-Fiルーターを準備すること。

#### ③乗降地点の最適化、資材調達・設置・撤去

- ・設置予定の乗降地点について、専門的見地から精査を行うこと。その際、既存バス路線との接続性（モード連携）、利用需要の予測（商業施設・医療機関等）、車両の停車安全性および歩行者のアクセス性等を考慮し、必要に応じて地点の追加、削除または位置の微調整（最適化）を提案すること。

- ・設定した乗降地点に資材（案内看板、簡易ポール、ステッカー等）を設置すること。設置する資材は、強風等に対する安全性に配慮するとともに、利用者が乗降地点を視覚的かつ容易に認識できるデザインとすること。また、利用促進を図るため、看板等の盤面には利用登録を案内するQRコードやコールセンターの電話番号等を視認性の高いデザインで記載すること。運行期間終了後、速やかに撤去すること。

#### ④操作研修・テスト運行、住民説明会

研修計画を策定し、タクシー事業者およびコールセンター事業者に端末を用いてのハンズオン研修を事業者ごとに実施すること。また、運行開始前にテスト運行を開始し、課題を整理してスムーズに本番環境へ移行できるようマネジメントすること。

#### （４）運行最適化の提案・実施支援

実証運行開始後、日々の利用状況を継続的にモニタリングし、利用者利便の向上および運行効率の最適化を図るため、専門的知見に基づき機動的な改善提案を行うこと。

- ①運用設定の最適化：予約数、乗合率、不成立（満車等による予約不可）件数等の実績データに基づき、設定変更を適宜提案すること。
- ②乗降地点の見直し：実際の利用実績や利用者からの要望、停車時の安全性、および既存バス路線との接続状況等を踏まえ、乗降地点の見直しを適宜提案すること。
- ③運用変更の実施支援：佐賀市との協議により運用変更が決定した場合、速やかにシステム設定への反映、関係事業者（タクシー事業者・コールセンター等）への周知、および利用者への案内等の必要な措置を講じること。

#### （５）コールセンター業務（電話予約受付・問い合わせ対応）

本業務の範囲内（費用負担含む）において、利用者からの電話予約、問い合わせに対応するコールセンターを設置すること。

地域特有の問い合わせに柔軟に対応するため、佐賀市内の地理に精通した人員を配置すること、および今後の市内他地域への展開を見据え、市内事業者等を活用して佐賀市内にノウハウが蓄積される体制を構築することが望ましい。

※提案時点において、当該業務の事業者を確定させる必要はない。委託先候補については、契約締結後に佐賀市と協議の上で決定することとする。ただし、提案見積書には本業務の想定経費を「電話予約受付」「問い合わせ対応」それぞれ分けて記載すること（利用者からの電話を受けるための専用回線の引込または携帯電話の設置など、業務に必要な機器や資材、通信費等も含めること）。

#### （６）利用促進および広報業務

本業務の範囲内（費用負担含む）において、以下の業務を確実に遂行すること。

- ①地域の特性やターゲット層（高齢者、運転免許返納者、日中の移動者層等）に応じた利用促進・広報戦略の立案および実行
- ②広報ツール（チラシ、ポスター、操作説明の動画等）の制作
- ③主要商業施設等における出張相談会の実施
- ④公民館における住民説明会（12回を想定：運行区域内の6つの公民館で各2回）への人員派遣および合意形成に向けた支援・操作説明

なお、上記②および③の具体的な実施内容・回数等については、プレゼンテーション時の提案に基づき、佐賀市と協議の上で定めた内容を実施するものとする。また、各種広報物のサイズ・デザイン等についても協議の上で決定する。

#### (7) 実証効果の検証・分析業務

4カ月間の実証運行終了後、単なる利用実績の報告にとどまらず、取得した各種データに基づく多角的な効果検証を行い、利用者利便の向上・運行の効率化に着目した社会実装案や市内他地域への横展開に向けた具体的な提案レポートを提出すること。

##### ① 定量・定性データに基づく総合分析

- ・ **定量分析**：利用登録者数、年代別利用割合、乗合率、平均乗車時間・待ち時間、AIによる経路最適化の達成度（総走行距離の削減効果等）、キャンセル発生率、不成立（満車等による予約不可）等のデータを集計・可視化すること。
- ・ **定性分析**：アンケート等で収集した利用者の満足度・要望事項および運行を担ったタクシー事業者・コールセンター担当者からのヒアリング結果（操作性、業務負荷、現場でのトラブル事例等）を分析し、運用ルールに関する課題を整理の上、課題解決に向けた提案をすること。

##### ② 他地域への横展開に向けた提案

車両サイズ別の運行適性、需要の発生パターン等をベースに、市内における他地域で同様のシステムを展開した場合の実現可能性を検証・提案すること。

- ・ **候補地の抽出**：市内の交通空白地域や路線バスの利用が低迷している路線周辺区域において、AIオンデマンド交通の導入効果が高いと見込まれる具体的な区域をデータに基づいて提示すること。
- ・ **シミュレーション**：提案する各対象区域において、必要となる想定車両数、適切な乗降地点の配置案、および見込まれる利用者数等のシミュレーション結果を併せて報告すること。

#### (8) 報告・資料作成支援

- ・ 地域公共交通協議会等、本業務の実施・継続に係る協議の場において使用する資料の作成支援を行うこと。
- ・ 国庫補助事業を活用した場合の実績報告等に必要となるデータの抽出・整理および報告書作成の支援を行うこと。

### 4. 運用体制等

#### ① サポート窓口の設置

システムに関する佐賀市、運行タクシー事業者およびコールセンター事業者からの問い合わせ、障害報告等に迅速に対応・回答できる体制を確保すること。

- ・ **時間**：9：00～17：00（月～土曜日）
- ・ **方法**：電話、チャット、メール

#### ② マニュアル提供

ドライバー用マニュアル、管理者（佐賀市）用マニュアル、コールセンター（電話予約受付・問い合わせ対応）用マニュアルを提供すること。

#### ③ メンテナンス

システムのバージョンアップや保守作業等に伴うメンテナンスを実施する場合は、事前に佐賀市に通知し、原則として車両の運行時間外に実施すること。

#### ④情報セキュリティ

佐賀市情報セキュリティポリシーおよび総務省の「地方公共団体における情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」等の関連規程、ルール、法令を遵守すること。また、重要度が高い資産（個人情報や位置情報等の運行データ）を扱う範囲、あるいは外部ネットワークとの境界（外接部分）においてセキュリティリスク分析を実施し、適切な対策を講じること。

### 5. 成果物の納入

受託者は、本業務の遂行に伴い、以下の成果物を指定の期日までに納入すること。なお、具体的な期日は協議の上で決定する。

#### ①実証運行開始前（令和8年9月18日）までの納入物

- ・ A I オンデマンド交通システム一式（本番環境構築およびアカウント設定完了）
- ・ 車載機器および関連機材一式（予備機を含む）
- ・ 車両用マグネットシート
- ・ アンケート配布・回収用資材
- ・ 乗降地点設置用資材（案内看板、ポール等）  
※現地への設置完了をもって納入とする
- ・ 各種マニュアル
- ・ 事業計画書および運用・運行計画書（テスト運行も含む。）
- ・ 出発式用広報物

#### ②実証運行期間中（令和8年10月1日～令和9年1月31日）の納入物

- ・ 定期報告会資料および議事録

#### ③業務完了時（令和9年2月12日）までの納入物

- ・ 分析・レポート一式（実証結果報告および他地域への横展開提案書等）
- ・ システム蓄積データ一式

以上

(別紙) 運行予定区域図

